

平成 27 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：CRC 宇宙線将来計画研究会(2)	
英文：CRC workshop for future plans in cosmic ray research (2)	
研究代表者 神田展行（大阪市立大学） 参加研究者 伊藤好孝（名古屋大学）、荻尾彰一（大阪市立大学）、手嶋政廣（東京大学）、宗像一起（信州大学）、森正樹（立命館大学）、山本常夏（甲南大学）、さこ隆志（名古屋大学）、田島宏康（名古屋大学）、戸谷友則（東京大学）、佐川宏行（東京大学）、梶野文義（甲南大学）、片寄祐作（横浜国立大学）、他 CRC 会員	
研究成果概要 CRC では、継続的に将来計画研究会を開催してきた。特に 2011 年以降はタウンミーティングとして、年 1 回に限らず宇宙線分野の研究の将来計画を継続的に議論している。今年度は、日本学術会議が新しい「マスタープラン 2017」の制定に向けて動き出しており、CRC としてもこれに対応するため、「2011-12 年度期最終報告」に掲載された中規模計画（中規模計画 2011-12）とマスタープランに重点学術研究として選定された計画について、その後の実現状況と計画のアップデートを報告していただき議論するため、2015 年 12 月 20-21 日にタウンミーティングを開催した。このタウンミーティングにおいては、中長期的な宇宙線研究の推進課題の検討として、今後コミュニティーの支援を希望する計画についても合わせて議論がなされた。また、さらに 2016 年 2 月 11 日にももう一度タウンミーティングを開催し、マスタープランへの対応を議論し、CRC としての対応を決めた。CRC の重要な方針を議論する場として役にたった。 以下に会議のプログラムを示す。	
2015 年度 CRC 将来計画タウンミーティング（通算第 9 回） 12 月 20 日（日） 9:30-9:40 説明（伊藤 CRC 実行委員会委員長） 9:40-10:00 説明（梶田 ICRR 所長） ；マスタープラン、大型計画の動向中心に 10:00-10:45 HK 10:45-11:15 CTA 11:15-11:45 議論 (11:45-13:00) 昼食 ；中規模 8 計画のフォローアップ 13:00-13:30 SK-Gd 13:30-14:00 XMASS 14:00-14:30 KamLAND 14:30-15:00 IceCube (15:00-15:20) コーヒーブレイク 15:20-15:50 TA2 15:50-16:20 JEM-EUSO 16:20-16:50 Tibet 16:50-17:10 iWF-MAXI 12 月 21 日（月） 9:30-10:30 議論；中規模に関する議論＋前日の将来計画委議論の紹介 ；公募提案の紹介、現状 10:30-10:50 GAPS 10:50-11:20 NEWAGE 11:20-11:40 GRANIE 11:40-12:00 SMILE (12:00-13:30) 昼食 13:30-13:50 NTA 13:50-14:10 DECIGO 14:10-14:40 議論 14:40-14:50 閉会挨拶	2015 年度第 2 回 CRC 将来計画タウンミーティング（通算第 10 回） 日時：2016 年 2 月 11 日（木、祝） 場所：東京大学柏キャンパスメディアホール プログラム 10:00-10:15 趣旨説明 <新規計画> 10:15-10:45 IceCube-Gen2 計画 10:45-11:15 議論 11:15-11:45 Pre-DECIGO 計画 11:45-12:15 議論 (12:15-14:00 昼食) <超大型計画> 14:00-14:30 ハイパーカミオカンデ計画 14:30-15:00 議論 <前回からの改定案> 15:00-15:10 CTA 15:10-15:20 K-EUSO 15:20-15:30 XMASS1.5 15:30-15:40 KamLAND2-Zen (15:40-16:10 休憩) 16:10-17:00 議論 (17:00- 将来計画検討小委員会、CRC 実行委員会)
整理番号 J02	